

磐田市

# 桶ヶ谷沼 ビジターセンター 第222号 2022年11月号 だより



開館時間:午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所:〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話:0538-39-3022 FAX:0538-39-3023



## 秋が深まりアカトンボの数が増えてきました

11月になり、木々が赤色や黄色に色づき始め、秋が深まってきました。桶ヶ谷沼で見られるアカトンボの数も種類も増えてきました。一般的に、赤やオレンジ色をしたトンボのことをアカトンボと呼んでいますが、正式には「トンボ科アカネ属」に属するトンボのことを言います。下の写真では、アカネ属のトンボを紹介します。なお、写真は全てオスです。



アキアカネ



ナツアカネ



コノシメトンボ



ミヤマアカネ



マイコアカネ



ノシメトンボ

## アカトンボと間違われるウスバキトンボ

広場やグラウンドで群れをなして飛んでいるオレンジ色のトンボを見つけ「アカトンボが飛んでいる」と思ったことがあるのではないか。そのトンボはウスバキトンボと言い、アカトンボの仲間（アカネ属）ではありません。

このトンボは、東南アジアなどの熱帯地方で羽化し、南風に乗って日本にやってきます。ほとんどのトンボの世代交代は1年なのに対し、このトンボは1か月程度で世代交代をしながら日本を北上していきます。なお、日本を北上したトンボは越冬できずに死んでしまいます。8月頃によく見られるので「精霊トンボ」とも呼ばれています。



ウスバキトンボ

どうよう  
童謡「赤とんぼ」の1番の歌詞に  
かし  
出てくるトンボと言われている

# 「アカトンボ観察会」を開催しました

10月23日(日)にアカトンボ観察会を開催し、午前中はおけがや自然塾生16人、午後はビジターセンター行事参加者16人がアカトンボについて学びました。

講師の太田充さんからアカトンボの種類やそれぞれの特長などについて説明を受けた後、桶ヶ谷沼へ出かけました。桜の木の枝や木道に立てた竹竿の先にとまるアキアカネやナツアカネなど7種類のアカトンボを見つけることができました。アカトンボの他にはウスバキトンボやオオアオイトトンボ、コシアキトンボも見つけることができました。網で捕まえたトンボは、センターに持ち帰り、色や体のつくりを観察しました。



講話のようす



網で捕まえました



虫かごに入れてセンターへ



種類を調べました



アカトンボマップの完成



観察後逃がしました

## アカトンボ観察会で学んだこと

- アカトンボはトンボ科アカネ属のことを言い、日本では21種類が確認されている。
- 赤やオレンジ色をしていてもショウジョウトンボやウスバキトンボのようにアカトンボの仲間ではないトンボがいる。
- ナニワトンボのように赤くないアカトンボの仲間がいる。
- アキアカネは6月頃に羽化し、暑さを避けるため一旦山に登り、涼しくなった10月中旬頃に平地に戻ってくる。そのため、夏は平地で見ることができず、秋に多く見ることができる。
- ナツアカネは羽化後も平地にとどまる個体がいるため、夏にも見ることができる。

## センター行事のお知らせ：「野鳥観察会」

日時	1月15日(日) 9:30~11:30
場所	おけがや自然塾 桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼
対象・募集人数	一般(小学生は保護者同伴、未就学児の参加・見学は不可)・20人 先着順
内容	桶ヶ谷沼にいる野鳥の説明を受けた後、マガモなどの水鳥や野鳥の観察を行います。
服装・持ち物	マスク着用、作業ができる服装(長そで・長ズボン)、防寒具、水筒、タオル、軍手(または手袋)、長靴、双眼鏡(ある方)、カッパ(少雨の場合)
備考	新型コロナウィルスの感染状況・天候によっては中止になることがあります。 *申し込みは直接、電話やファックスでビジターセンターへ